

# 図書だより

## 10月

田原本町立北中学校  
令和5年10月  
第4号

### 読書の秋です！

夏はいつまで続くのだろうと心配になるくらい暑い日が続いていましたが、ようやく秋の到来といってもいいかなと思えるくらい、朝晩涼しくなってきました。秋の風を感じながら、ゆっくり読書をしたいです。

夏休みの宿題に読書感想文がありました。生徒の皆さんが読んでいて面白そうだった本もたくさん入荷しました。2学期にはビブリアバトルが実施される学年もあるようです。たくさん本を読んで、友達やクラスメイトに「この本面白かったよ!」と紹介してあげてください。そうして、どんどん読書の輪が広がっていくことを願っています。

夏休み前に借りた本をまだ返していない人はいませんか？  
できるだけ多くの人に読んでほしいので、まだ返せていない人は、できるだけ早く返しに来てくださいね。

### 本の紹介

#### 「変な家」雨穴（飛鳥新社）

知人が購入を検討している都内の中古一軒家。開放的で明るい内装の、ごくありふれた物件に思えたが、間取り図に「謎の空間」が存在していた。知り合いの設計士にその間取り図を見せると、この家は、そこかしこに「奇妙な違和感」が存在すると言う。間取りの謎をたどった先に見たものとは……。不可解な間取りの真相は!? 突如消えた「元住人」は一体何者!?  
本書で全ての謎が解き明かされる!



#### 「怪物」佐野 晶（宝島社文庫）

「豚の脳を移植した人間は？人間？豚？」シングルマザーの早織に、息子の湊が投げかけた奇妙な質問。それ以降、不審な行動を繰り返す湊に、早織は学校でのいじめを疑うが……。母親・教師・子どもの三つの視点から語られる物語に潜む「怪物」の正体とは。



#### 「成瀬は天下を取りに行く」宮島 未奈（新潮社）

2020年、中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。コロナ禍に閉店を控える西武大津店に毎日通い、中継に映るといのだが……。M-1に挑戦したかと思えば、自身の髪で長期実験に取り組み、市民憲章は暗記して全うする。今日も全力で我が道を突き進む成瀬あかりから、きっと誰もが目を離せない。発売前から超話題沸騰！ 圧巻のデビュー作。



#### 「この夏の星を見る」辻村 深月（KADOKAWA）

亜紗は茨城県立砂浦第三高校の二年生。顧問の綿引先生のもと、天文部で活動している。コロナ禍で部活動が次々と制限され、楽しみにしていた合宿も中止になる中、望遠鏡で星を捉えるスピードを競う「スターキャッチコンテスト」も今年は開催できないだろうと悩んでいた。真宙（まひろ）は渋谷区立ひばり森中学の一年生。27人しかいない新入生のうち、唯一の男子であることにショックを受け、「長引け、コロナ」と日々念じている。円華（まどか）は長崎県五島列島の旅館の娘。高校三年生で、吹奏楽部。旅館に他県からのお客が泊っていることで親友から距離を置かれ、やりきれない思いを抱えている時に、クラスメイトに天文台に誘われる――。

### 9月の多読賞！

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		23	1		7	1		4
2		9	2		6			
3		4	3		5			
		4	4		3			
		4			3			
					3			
					3			